

# 中学校 音楽

## 音楽科における改訂のポイント

### 1 「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善について

生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図る際には、音楽的な見方・考え方を働かせ、他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさなどを見いだしたりするなど、思考、判断し、表現する一連の過程を大切に学習の充実を図ることが重要です。

- (1) 題材など内容や時間のまとまりの中で、以下の視点で授業改善を進めること
  - ア 主体的に学習に取り組めるよう学習の見通しを立てたり学習したことを振り返ったりして自身の学びや変容を自覚できる場面をどこに設定するか
  - イ 対話によって自分の考えを広げたり深めたりする場面をどこに設定するか
  - ウ 学びの深まりをつくりだすために、生徒が考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか
- (2) 題材のまとまりを見通した学習を行うに当たって
  - ア 基礎となる知識及び技能の習得に課題が見られる場合には、それを身に付けるために、生徒の主体性を引き出すなどの指導の工夫を重ねながら、確実な習得を図ることが必要。

### 2 「音楽的な見方・考え方」について

※音楽科における学びの深まりの鍵となるものです。

#### 「音楽的な見方・考え方」

音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化などと関連付けること

※学習過程や学習活動において、音楽的な見方・考え方を働かせることができるよう、場面設定や発問など効果的な指導の手立てを工夫することが重要です。

### 3 音楽科の特質に応じた言語活動の充実

他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり音楽を聴いてそのよさや価値等を考えたりしていく学習の充実を図る観点から、音や音楽及び言葉によるコミュニケーションを図り、音楽科の特質に応じた言語活動を適切に位置付けられるようにすることが重要です。

※自らの考えを他者と交流したり、互いの気付きを共有し、感じ取ったことなどに共感したりしながら学びを深めること → 音楽科の学習の重要な特質

## 音楽科における学習評価のポイント

### 1 音楽科における評価の観点について

○ 3つの柱で整理された育成を目指す資質・能力に対応するように、評価の観点も以下のように3観点に整理して示されています。

【旧】

評価の観点
音楽への関心・意欲・態度
音楽表現の創意工夫
音楽表現の技能
鑑賞の能力



【新】

評価の観点
知識・技能
思考・判断・表現
主体的に学習に取り組む態度

## 2 「知識・技能」の評価

「知識」では、曲想と音楽の構造などとの関わり（及び音楽の多様性）について理解しているかどうかを評価します。

「技能」では、表したい（創意工夫を生かした）音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌ったり、演奏したり、音楽をつくったりしている（歌唱、器楽、創作で表している）状態を評価します。

※知識と技能を個別に評価したり、一体的に評価したりするケースが想定されます。

〈評価方法例〉領域：「A 表現」（歌唱分野）

「知識」：楽譜に書き込まれた言葉や記号などから、「早春賦」の雰囲気や表情、味わいなどがどのような音楽の構造や歌詞の内容によって生み出されているのかを捉えていることが見て取れるかを評価する。〈ワークシート〉

「技能」：創意工夫を生かした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能について学習した内容が歌唱表現に表れているかを評価する。〈演奏〉

## 3 「思考・判断・表現」の評価

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしているかどうかを評価します。

〈評価方法例〉領域：「B 鑑賞」

- これまで鑑賞した3曲のいずれか一曲について、音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性を根拠にして、よさや美しさ、音楽表現の共通性や固有性について、自分の考えを書いているかを評価する。〈ワークシート〉
- これまで学習したことを踏まえた、その曲の魅力や音楽の特徴、音楽の背景などとの関連についての生徒の発言やつぶやきの状況、他者の発言内容に関する反応の様子を評価する。〈観察〉 ※ワークシートの記述のみでは判断できない側面を補完。

## 4 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしているかどうかという側面を評価します。

〈評価方法例〉領域：「A 表現」（歌唱分野）

- 「荒城の月」、「早春賦」の歌詞が表す情景や味わいに関心をもち、自分が知覚・感受したことや他者の気付きなどを基に、どのように歌うかについて考えたり他者と共に歌い試したりしようとしている様子が、本題材の学習を通じて見て取れたか。〈観察〉
- 学習の全体を振り返って、自分が学んだことについて、授業での学習内容を踏まえて書いているか。〈ワークシート〉

### 【参考資料】

- 中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 音楽編
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料（中学校音楽）